

[17] (フィボナッチの数列) $a_1 = 1, a_2 = 1, a_{n+2} = a_{n+1} + a_n$ で与えられる数列 $\{a_n\}$ の一般項は、
 $a_n = (\alpha^n - \beta^n) / (\alpha - \beta)$ で表されることを示せ。ここに α, β は方程式 $x^2 = x+1$ の2根である。
 (解は省略) この問題に替えて、2次方程式の解が重根の場合を次の問とした。

問 $a_{n+2} - 2\alpha a_{n+1} + \alpha^2 a_n = 0$ ($\alpha \neq 0$) のとき a_n を求めよ。

(略解) 漸化式を変形して $a_{n+2} - \alpha a_{n+1} = \alpha(a_{n+1} - \alpha a_n) = \dots = \alpha^n (a_2 - \alpha a_1)$
 α^n で割って $(a_{n+2}/\alpha^{n+2}) - (a_{n+1}/\alpha^{n+1}) = (a_{n+1}/\alpha^{n+1}) - (a_n/\alpha^n)$
 $= \dots = (a_2/\alpha^2) - (a_1/\alpha)$
 よって数列 $\{a_n/\alpha^n\}$ は、初項 (a_1/α) 公差 $(a_2/\alpha^2) - (a_1/\alpha)$ の等差数列
 $a_n/\alpha^n = (a_1/\alpha) + (n-1) \cdot \{(a_2/\alpha^2) - (a_1/\alpha)\}$
 $\therefore a_n = (n-1)\alpha^{n-2} a_2 - (n-2)\alpha^{n-1} a_1$

[18] (3項間の漸化式) 次の数列の一般項 a_n を求めよ。 (1) は前問と同様のため省略
 (2) $a_{n+2} - 3a_{n+1} + 2a_n = 4, a_1 = 1, a_2 = 5$ (3) $a_{n+2} - 2a_{n+1} + a_n = n, a_1 = 0, a_2 = 1$

(略解) (2) $x^2 - 3x + 2 = (x-1)(x-2) = 0, x = 1, 2$ より漸化式は次の2通りに変形できる。
 (A) $(a_{n+2} - a_{n+1}) - 2(a_{n+1} - a_n) = 4$ (B) $(a_{n+2} - 2a_{n+1}) - (a_{n+1} - 2a_n) = 4$
 (本では) (A) を利用しているが、ここでは (B) による解を示す。
 数列 $\{a_{n+1} - 2a_n\}$ は初項 $a_2 - 2a_1 = 3$ 、公差 4 の等差数列 $a_{n+1} - 2a_n = 3 + 4(n-1) = 4n - 1$
 $a_{n+1} + A(n+1) + B = 2(a_n + An + B)$ と変形できたとすると、 $2A - A = 4, 2B - A - B = A - B = 1$ より $A = 4, B = 3$
 $a_{n+1} + 4(n+1) + 3 = 2(a_n + 4n + 3)$ だから数列 $\{a_n + 4n + 3\}$ は初項 8、公比 2 の等比数列
 $a_n + 4n + 3 = 8 \cdot 2^{n-1}$ よって $a_n = 8 \cdot 2^{n-1} - 4n - 3 = 4 \cdot 2^n - 4n - 3$
 (3) 漸化式を変形して $(a_{n+2} - a_{n+1}) - (a_{n+1} - a_n) = n$ $b_n = a_{n+1} - a_n$ (第1階差) とすれば
 $b_{n+1} - b_n = n, b_1 = a_2 - a_1 = 1$ $b_n = b_1 + \sum_{k=1}^{n-1} k = 1 + n(n-1)/2 = (n^2 - n + 2)/2$
 $\therefore a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (k^2 - k + 2)/2 = (n-1)(n^2 - 2n + 6) / 6$

[19] (連立漸化式) n 個のサイコロを投げたときの目について、1の目が偶数個 (0 を含む) のものが a_n 、奇数個のものが b_n であるとする。

(1) a_{n+1}, b_{n+1} を a_n, b_n で表せ。(2) a_n, b_n を n の式で表せ。
 (何かイメージがスッキリしません。少し遊びます。)

1 個の場合 1, 2, 3, 4, 5, 6 1の目が偶数個(0個) 2, 3, 4, 5, 6 $a_1 = 5$
 奇数個の目(1個のみ) 1 $b_1 = 1$
 2 個の場合 (1, 1) (1, 2) (1, 3) (1, 4) (1, 5) (1, 6) 偶数個 (1, 1) (2, 2) ~ (6, 6)
 (2, 1) (2, 2) (2, 3) (2, 4) (2, 5) (2, 6) $a_2 = 1 + 5 \times 5 = 26$
 奇数個 (1, 2) ~ (1, 6) (2, 1) ~ (6, 1)
 (6, 1) (6, 2) (6, 3) (6, 4) (6, 5) (6, 6) $b_2 = 5 \times 2 = 10$
 多少、分かったような???

(略解) (1) n 個から $n+1$ 個へは、 n 個に 1 個追加するから、合わせて偶数になるのは、
 偶数個の場合、追加するのは 1 以外の 2 ~ 6 の目で 5 通り
 奇数個の場合、追加できるのは 1 だけで 1 通り $a_{n+1} = 5a_n + b_n$
 合わせて奇数になるのは、
 偶数個の場合、追加できるのは 1 だけで 1 通り
 奇数個の場合、追加するのは 1 以外の 2 ~ 6 の目で 5 通り $b_{n+1} = a_n + 5b_n$

(2) (再掲) 1 個の場合 1, 2, 3, 4, 5, 6 偶数個 2, 3, 4, 5, 6 $a_1 = 5$
 奇数個 1 $b_1 = 1$
 (1)より $a_{n+1} + b_{n+1} = 6(a_n + b_n) = \dots = 6^n(a_1 + b_1) = 6^{n+1}$ $a_n + b_n = 6^n$
 $a_{n+1} - b_{n+1} = 4(a_n - b_n) = \dots = 4^n(a_1 - b_1) = 4^{n+1}$ $a_n - b_n = 4^n$
 $\therefore a_n = \frac{6^n + 4^n}{2}$ $b_n = \frac{6^n - 4^n}{2}$

《妙な3つの立方体(再掲)》 昔の「数学散歩」で扱いました。隙間を利用して、再度紹介します。面白い立体です。3つの立方体が斜めに重なったものです。画用紙など厚紙で作ってみてください。1辺が4cmのものを作りましたが、組み立てには苦労しました。

「展開図」 (ノリシロ)

実線：山折り
 点線：谷折り

「見取り図らしきもの」

「『堀内正和の彫刻』堀内正和著 河出書房新書から」